



2022(R4)年度

認定特定非営利活動法人コミュニティリーダー ひゅーる ぽん

事業報告書

(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

1.運営に関わる事業

=その他、本法人の目的を達成するために必要な事業
【事業費：646,642円】

今年度もコロナウイルス感染症の感染拡大に配慮しつつ活動を行う1年となりましたが、利用
児者ご家族の方、ひゅーるぼんに立ち寄ってくださる多くの方の感染防止のご協力をいただくこ
とで、無事に活動を継続していくことができました。

今年度は「日常」を大切にすることをテーマに、活動をすすめてきました。毎日通ってくる子ど
もたちや通所者、ご家族に心を砕き丁寧に寄り添いながらスタッフとしてのアセスメント力を高
めていくこと、コロナ禍になり課題となっていた「人とつながること」を、「日常」の活動の延
長線上に組み込んでいくことを模索し形にすることができたように思います。

運営会議では今年度より新たに「保健委員会」「人権委員会」が立ち上がりました。この委員
会を通して、大きな安心感を持ってひゅーるぼんを利用することができる組織づくりを図っていく
こととなりました。

各種運営会議

1 運営に関する会議

通常総会 6月に開催

顧問監事会 7月・2月に開催

理事会 5月・9月・12月・3月に開催

こども発達支援センター運営委員会 7月・2月に開催

新保健委員会(保健・災害に関すること、BCP立案) 全体委員会6月・9月 定例委員会月1回
人権委員会 (虐待・身体拘束マニュアル改訂と研修)

運営委員会 月1回

業務セクション会議 月2回

所長会議 定例月1回のほか議題に応じて実施

ディレクター会議 月1回

プログラム検討委員会 年度後半に実施し総括と来年度計画立案

2 プログラム実施に関する会議

コミュニティスペース事業に関わるプログラム会議 月2回以上

まちづくり・ボランティア育成事業に関わるプロジェクト会議 月2回

建築プロジェクト会議 (43回開催) 未来の建築を考える会議

活動支援プログラム

1 Hull Fan	672,000 円	153口
2 一般・指定寄付	698,835 円	
3 その他助成金等		
AEON イエローレシート		14,200 円
生協ひろしま		25,000 円
尾崎基金		35,000 円
社会貢献表彰		1,010,000 円

広報プログラム

- 1 WEBによる情報発信
- 2 広報紙「うるとらのほし」年2回発行（6月・12月）

研修

- 1 新人スタッフ研修

(新) 事前研修	2～3月に2日間実施 就職前に実習を実施することで、就職への不安の軽減と意欲の向上を図る目的で実施しました。
業務上必要なこと についての研修	4月～5月に実施（全9回）
新人面談	毎月1回実施 新人スタッフの悩みの解決や業務遂行のためのアドバイス等
(新) フレッシュ ミーティング	毎月1回実施 新人スタッフの横のつながりつくりと年齢の近い先輩スタッフが1名入ることで風通しの良い職場環境づくりに努めました。

2 スタッフ研修

虐待防止・身体拘束禁止に関わる研修	11/12
行方不明捜索研修（マニュアル確認）	4/9
救急法・AED研修	5/26
社会力 APDCAを意識したケースカンファレンス 社会力についてグループワークの実施	毎月1回
(新) みにみに勉強会 (新人スタッフを中心に自由参加) 業務で気になることなどを出し合いながら、30分程度の勉強会を実施しました。	MACの使い方 WISC検査について 新版K式発達検査について 運動発達について など

3 他団体主催の研修等への参加

コロナ禍でオンライン研修が増加し、参加しやすさもあり研修参加が増えました。今年度は、20件の研修参加があり、一人一人のスタッフの学ぶ機会を増やすことができました。

「発達障害基礎研修」 「メンタルサポーター研修」 「NPO実務スキルアップ研修」
「クレーム対応研修」 「保育リスクマネジメント研修」 など

2.コミュニティスペースプログラム

コロナ禍での活動が3年目となった今年度、こども発達支援センターでは、子どもたちとの日常の活動を大切に充実させること、また日常の中でのつながりを生み深めることに重点を置いて取り組みました。

きっず組では、子どもたちの思いに寄り添い形にすることを大切にし、様々なお楽しみプログラムや行事、外出プログラムなどを子どもたちと一緒に企画、実現させることができました。日常の中での楽しみが、子どもたち自身の経験や成長、相互の関係の深まりにつながっています。また、12月から地域交流として、週1回、地域の子どもたちときっず組の子どもたちとが園庭で一緒に遊ぶ日を設けました。子どもたち同士が遊びを通して自然な形で交じり合い、互いの関係を深めつつあります。

ひよこ組では、子どもたちとの日々の取り組みの積み重ねを大切にしながら、合わせて保護者の方に向けたプログラムを多く取り入れました。親子行事や親子遠足、参観週間など、保護者の方に子どもたちの日常の活動や様子、取り組みを直接見て知っていただく機会、活動に参加いただく機会を作りました。その他、発達支援センター全体の保護者を対象として、園庭の環境整備、運動会に向けた準備や当日の運営のお手伝いなど、様々な場面で参加、協力いただく機会を大切にしました。従来から行っている保護者交流会に加えた様々な活動場面を通して、日頃から保護者とスタッフ、保護者の方同士が交流しつながり合うきっかけとすることができました。

相談事業では、地域の親子に向けた子育てサロンを継続開催することで、親子が集う場を大切にしながら、子育てに寄り添い応援してきました。また、地域の幼稚園や保育園に通われているお子さんの保護者からの相談が増え、保育所等訪問支援事業など、私たちが地域の園に出向いて支援を行う機会も増えました。地域の中にあるこども発達支援センターとして、私たちの専門性を活かしながら地域の親子にとって安心できる身近な相談の場、子育て応援の場であり続けるとともに、日常の活動を工夫しながら地域に開いていくことを通して、人が日常的につながり合う場となることを目指していきたいと思えます。

就労継続支援B型事業ほっとスペースぽんぽんでは、個々の得意なことで力を発揮すること、その力を社会に繋げていくことに取り組みました。コロナ禍という状況下で、できることを考え取り組みました。本人たち主導の活動を増やし、周りの人のことを考える機会、みんなで話し合う機会、気持ちや感想を伝える機会を多くつくりました。また、アートに関しては、外部からの展示協力依頼など多くの方に声をかけていただき、作品や取り組みを見ていただく機会を作ることができました。また内部研修を通して、大人の人の支援のあり方について、スタッフで話し合う機会を作ることができました。そこで見出すことのできた内容を次年度につなげていきたいと思えます。

2-1 こども発達支援センター =こどもたちの育ちの支援に関わる事業

事業名	児童発達支援事業 ひよこ組 =児童福祉法に規定する障害児通所支援事業	事業費 40,658,277 円
事業目的	2歳から就学前までの発達に支援の必要なこどもたちを対象とし、児童発達支援ガイドラインに基づき、生活や遊びの支援を行うことを通して、基本的な生活習慣の獲得や自立、人・集団に対しての愛着心を育むこと、毎日をいきいきと過ごしていくための支援を行います。	
実施場所	こども発達支援センター	
利用状況	登録者数 27名 年間通所者 のべ 5,468名 ボランティア のべ 14名 ※2023(R5)年3月31日時点	年間活動日数 245日
実施内容	児童発達支援（ひよこ組） ひゅーるぼん独自の「安心感を基盤とした交流感・有能感・自己決定感の醸成」を基盤として、児童発達支援ガイドラインに基づく支援を行いました。 ○ 季節や文化を大切にしたい行事を実施しました。 はじまりの会、こいのぼり製作、水遊び、七夕製作、年長児お泊まり会、歯科検診、内科検診、ひゅーるぼん大運動会、さつまいも掘り、焼き芋会、冬のお楽しみ会、節分、ひなまつり製作、すだちの会など ※毎月1回、身体測定の実施。 ○ 発達支援計画提示・中間懇談・まとめ個別懇談、および必要に応じて個人懇談を実施しました。 ○ 保護者向けプログラムを実施しました。 ・保護者勉強会 「コロナ禍での過ごし方について」※Zoom 「ひよこ組の生活-幼児期に大切にしたいこと-」※Zoom 「ひよこ組での集団生活と保健について」※Zoom 「管理栄養士による食育研修と給食場面参観」※Zoom ・Zoom参観 「大運動会」（法人行事）の参観 「冬のお楽しみ会」と給食場面の参観 ・参観 クラス活動の参観 ※参観期間を設け実施 ・ひよこ組保護者交流会(園庭で実施) ・クラス懇談 ・親子行事「パパ・ママと遊ぼう」 ※グループごとの開催 ・親子遠足（安佐動物公園） ・園庭環境整備作業、花壇作りなどを通じた交流 ○ 月1回「ひよこだより」を発行し、日々の活動の様子等を写真も活用して報告しました。	

事業名	放課後等デイサービス事業（きつず組） ＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業	事業費 15,910,707 円
事業目的	障がいのある子どもや不登校の子どもたちに対して、子どもの思いや願いをくみ取り、大切に育む事を活動の基本とし、安心感を基盤に人や社会とつながって、いきいきと自己の力を発揮していけるよう育ちの支援を行います。	
実施場所	こども発達支援センター	
利用状況	放課後デイサービス利用登録者数 33名 その他利用人数 6名 年間通所者 のべ 2,913名 ボランティア のべ 10名 ※2023(R5)年3月31日時点	年間活動日数 245日
実施内容	<p>○放課後等デイサービス事業（きつず組） 6歳～18歳までの不登校及び障がいのある子どもたちを対象として、育ちの支援を行いました。 水曜日を除く、月～金曜日…13:00～17:45 土曜日…9:15～15:30 夏休みなどの長期休暇中の平日…10:00～16:30 ※このプログラムの一部は児童福祉法に基づく放課後等デイサービス事業として実施 平日の10:00～13:00は自主事業のフリースペースとして実施</p> <p>○季節プログラムや子どもたちの生活経験を豊かにするプログラムを実施</p> <p>2022年 5月…保護者交流会 6月…保護者交流会、美術館見学 7月…高学年女子向け外出プログラム、サイクリング 8月…お泊まり会、かき氷パーティー、スイカ割り 9月…保護者交流会、バス遠足、中高生向け宿泊プログラム 10月…電車遠足、ハロウィンパーティー、運動会 11月…保護者交流会、鈴カステラクッキング、焼きいも会 12月…コンサート鑑賞、カップケーキクッキング、クリスマス会</p> <p>2023年 1月…初詣、書き初め大会、凧揚げ、おしるこクッキング 2月…節分、焼きマシュマロパーティー、バレンタインクッキング 3月…旅行、卒業おめでとう会</p> <p>※その他、毎月のお誕生日会、毎週園庭を開放した地域交流プログラムを実施（12月より開始）</p> <p>○個別支援計画提示・中間・まとめ個別懇談、必要に応じて個人懇談を実施</p>	



事業名	保育所等訪問支援事業 ＝児童福祉法に規定する障害児通所支援事業	事業費	138,004 円
事業目的	保育所等において、発達に支援が必要な子どもが集団生活に適応できるよう継続的に専門的支援を行います。		
実施日時	通年		
実施場所	契約児童の通う保育園等		
参加者	契約児童 9 名		
実施内容	<p>コロナ感染拡大のため休止する時期もありましたが、契約児童 9 名に対して 61 件の支援を実施しました。</p> <p>担任と連携することで、目指す目標が明確になったという意見や保護者からは集団生活の課題や家庭で何を取り組んでいけばいいかが具体的にわかるといった声をいただいています。</p>		

事業名	障害児相談支援事業 ＝児童福祉法に規定する障害児地域支援事業 障害児指定特定相談支援事業 ＝障害者総合支援法に規定する事業	事業費	4,052,156 円
事業目的	地域の発達に支援が必要な子どもが自立した日常生活、社会生活を営むことができるよう相談支援を行います。		
実施場所	ひゅーるぽん、各家庭、学校等		
利用状況	契約者数	57名	※2023(R5)年3月31日時点
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障害児支援利用計画の作成 <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児支援利用計画の作成(57件) ・ モニタリング(97件) ○ 障害者自立支援協議会安佐南地域部会 区福祉課、社会福祉協議会と区内の相談支援事業所や子育てにかかわる機関、当事者で構成される隔月の部会、障害者相談支援専門員と地域包括支援センター職員との情報交換会に参加しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 相談部会への参加 3回 (うち1回は感染対策のためオンライン) 		

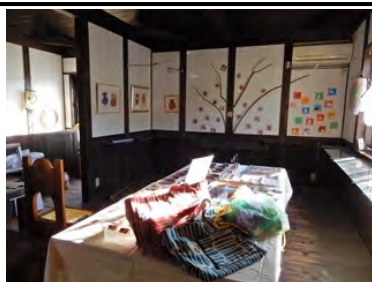
事業名	初期支援事業（広島市障害児療育等支援事業を含む） ＝障害総合支援法に規定する事業	事業費 6,203,736 円
事業目的	子どもの育ちについて「気になる」ことを早期に相談することで、ご家族が前向きに子育てにむかえる支援をおこないます。	
実施日時	通年	
実施場所	ひゅーるぼん	
参加者	実施内容参照	
実施内容	<p>(1)子育てサロンを毎週火曜日に44回開催 のべ160人参加 コロナ禍で園庭利用のみの月もありましたが年間を通じて止めることなく実施することができました。また、毎週実施としたことで悩みを持ち越すことなく細やかに対応できるメリットがありました。</p> <p>(2)個別相談を76件実施</p> <p>(3)0～2歳児を対象とした集団支援「ぴよぴよくらぶ」を5回実施 低年齢から保育園や児童発達支援を利用しているケースが増えていることも影響しているのか、対象児が少なく通年開催にはなりませんでした。しかし対象となるケースについては月2回の支援では悩みに対応することの難しさを感じ、来年度の課題にしたいと思います。</p> <p>(4)緊急的な要支援家庭への家庭訪問フォロー 3件実施 電話相談のあった当日または翌日には家庭訪問を実施しました。</p> <p>(5)NPO法人e-子育てセンターの「ひろばKUSUKUSU祇園・佐東」への出張発達相談を12回実施 1回の相談で終わるのではなく継続して相談に来られる親子も増えています。またここで対応した親子のうち何名かは発達相談や子育てサロンの方で引き続いて支援をおこなっています。</p> <p>(6)幼稚園や保育園への施設支援を14件実施</p>	

事業名	こども発達支援センター自主事業 =自主事業	事業費	0円
事業目的	こども発達支援センターとしての専門機能を活かし、地域の中核的な発達支援施設としての役割を果たします。		
実施日時	通年		
実施場所	ひゅーるぽん ほか		
参加者	実施内容参照		
実施内容	<p>(1) 児童発達支援ひよこぐみ療育終了後の一時預かり事業 のべ 177名の利用がありました</p> <p>(2) 児童発達支援ひよこぐみ退園後のアフターフォロー事業 「こっこくらぶ」…幼・保育園に通う保護者対象 「こけこっこくらぶ」…就学後の保護者対象 どちらのアフターフォローも集団としての開催ができませんでした。 就園後の相談については、電話や来所相談で個別に対応しました。</p> <p>(3) 安佐南区自立支援協議会 各部会への参加 子ども部会 5回 相談部会 3回 事業所連絡会 3回 コロナ禍でオンラインでの実施がほとんどですが、参加しやすいメリットがありました。</p>		



2-2 就労継続支援B型 コミュニティほっとスペースぽんぽん

事業名	コミュニティほっとスペースぽんぽん (就労継続支援B型事業所) =障がいのある人等をはじめとする成人の地域 生活ならびに社会参画支援に関わる事業	事業費 15,790,311 円
事業目的	18歳以上の障がいのある人の就労、社会参画ならびに豊かな地域生活の支援を行うことを通して、人や社会とつながる喜びを感じながらいきいきと豊かに生きていくことを支援します。	
実施場所	コミュニティほっとスペース ぽんぽん	
利用状況	登録者数 14名 年間通所者 のべ 2,936 名 ※2023(R5)年3月31日時点	年間活動日数 245 日
実施内容	<p>○働くことの支援 下請け作業（木工製品のやすりがけ、和菓子ラッピング、発送作業）、オリジナルアート製品づくり・販売、アートレンタル。</p> <p>○表現活動の支援 アート制作の支援。アートを通じた社会参加支援。演劇活動参加の支援。音楽療法士による音楽プログラムの実施。</p> <p>○本人主体の活動 レクリエーションの企画・実施(マリーナホップへの外出、お楽しみ会)、月1回のランチ会の企画、花壇管理、など。</p> <p>○外部とのつながり 委託販売を請け負ってくださっている方を通じた、オンラインや活動報告を通じた製品購入者との交流。作品のレンタル事業への協力。 人権擁護センター「ほっとさん」の相談の実施（6回）。 ワークショップの開催（地域とのつながりづくりプログラムとして1回）</p> <p>○その他 作品展示（泉美術館、金木犀、ハートフルフェスティバル、はつかいち美術ギャラリーでの共同展示） デザイン提供(UNIQLO- UT、ご当地フォントプロジェクトabur、など) 出張販売の実施(無印良品winwinマルシェ、僕らのアトリエ) 広島市内のカフェに常設展示。</p>	



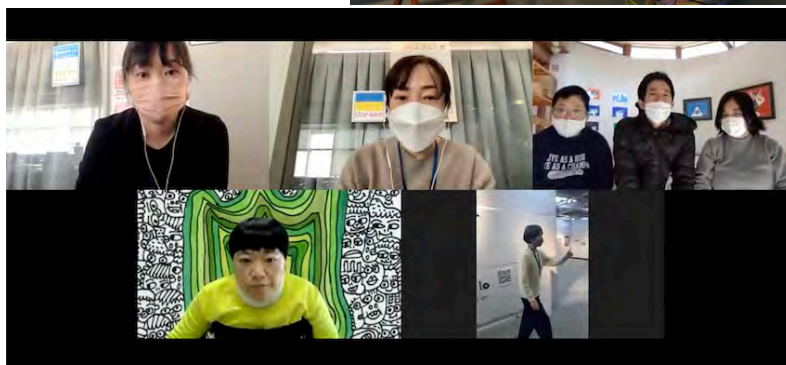
3.まちづくり・コミュニティボランティア育成 プログラム

3-1 アートによるまちづくり =まちづくりに関わる事業

自由でありのままの表現を大切に、障がいのある人の様々な表現活動が社会に広がり、高まっていくことを目指し、活動を行いました。今年度は、2001年より20年にわたり取り組んできたアート・ルネッサンスの活動を総括し、内容をの革新を検討していく年となりました。2月開催の予定で事業計画をしていましたが、内容の検討や、関係者でその方向性を共有していくことに時間をいただき、展覧会は来年度に時期をずらして開催することにしました。これまでよりもさらに自由で多様なアート、様々な表現の形や新たな可能性を伝え広げる展覧会を目指し、2023年9月の開催に向けて企画を進めています。

幸せプロダクツの活動では、新たにご当地フォントプロジェクトに参加し、デザイナーとの協働でPeacefontを開発しました。フォントやデザインを名刺に使用していただくなど、障がいのある人の表現が社会に広がる取り組みをスタートしました。その他定期的にデザイン会議を開催し、表現が生まれる現場とデザイナーとが協働で製品開発をし、販路開拓を行いました。

また、引き続き広島県の事業を受託しアートサポートセンター事業を行いました。セミナー等を通して様々な表現活動あり方を紹介し、アートサポーターの人材育成や表現活動を支援する環境の高まりをサポートしました。加えて、遠隔ロボットを使つての鑑賞や、障がいのある人を対象とした「おしゃべり鑑賞会」の実施など、大学や関係機関と連携しながら、誰もが様々な表現活動やその鑑賞に参加できるよう取り組みを進めました。



事業名	広島市ピースアートプログラム アート・ルネッサンス2023 =まちづくりに関わる事業	事業費	142,706 円
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がいのある人のアートが持つ魅力、価値を広く社会に広めていきます。 ○ アーティストと社会がつながる社会参画の場とします。 ○ 現場で制作するアーティスト、サポーター同士のつながりを広げます。 ○ アーティスト、サポーターの表現活動の広がり、高まりを支援します。 		
実施内容	<p>1.審査員との企画会議 2022年7月9日（土）19時～20時半 場所実施：合人社ウエンディひと・まちプラザ 北棟4階ギャラリー 市民交流プラザ会議室、zoomによるオンライン会議併用 参加者：8人</p> <p>2022年11月7日（土）18時～19時半 参加者：7人 場所実施：zoomによるオンライン会議</p> <p>2.公募要項の配布・発送 公募期間：2023年3月2日(木)～5月31日(水) 配布部数：5000部予定</p> <p>3.協賛企業様へアートルネッサンス2023の説明と協賛のお願い</p>		

事業名	幸せProducts. =まちづくりに関わる事業	事業費	774,120 円
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○社会の中で障がいのある人のアートの普及 ○障がいのある人の社会参画を促進 ○アートをまちづくりに活かす新しい取り組み・製品の開発 		
実施場所	ダイハツ広島販売株式会社 各店舗（広島県内）、幸せProducts.事務局内		
実施内容	<p>(1)アートレンタルの窓口 ダイハツ広島販売株式会社直営20店舗(本社含め)へのアートレンタルの窓口となり、協力団体・事業所・個人の方々と連携し、中心になって事業を進めていきました。</p> <p>(2)ご当地フォントプロジェクトへ参加し、障がいのある方の文字やデザインを使ったフォント・パターンの作成(Peace Font)をしました。それを通して、新たなネットワークの構築と広がりがありました。</p> <p>(3)新たなデザインプロジェクト アーティストとデザイナーが協働して製品開発をし、販路開拓・販売を行いました。（ぼんぼん作品展での販売、sakkazakkaでの販売、GOODJOBセンターでの取り扱いの開始など）</p>		

事業名	アートスペース（陶芸・絵画） ＝まちづくりに関わる事業	事業費	304,002 円
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 障がいのある人のアートを支援するノウハウと資源を活用し、アートに取り組む環境を提供していきます。 ○ 地域へ開かれたアート教室を開催し、制作の機会を広めていきます。 ○ アーティストの発掘とアートの社会化を目指していきます。 		
実施日時	通年（絵画）毎週火曜日（陶芸）第2・第4金曜日		
実施場所	（絵画）ほっとスペースぽんぽん（陶芸）安佐南区民文化センター		
参加者	絵画ー登録2名、陶芸ー登録 6名		
実施内容	<p>(1) アートスペース絵画の開催。毎週火曜日に外部の方を対象に実施しました。新型コロナウイルス感染の状況を考慮し、8-9月、1月はオンラインで実施し継続した表現の場づくりに取り組みました。</p> <p>(2) アートスペース陶芸の開催。月2回、外部より専門の講師を招き、安佐南区民文化センターにて活動を行いました。新型コロナウイルス感染の状況を考慮し、9月はオンラインを活用し行いました。</p> <p>(3) 公開ワークショップは、感染予防を考慮し休止しました。</p> <p>(4) 全国の公募展やデザイン募集に応募。</p>		

事業名	令和4年度広島県障害者芸術文化活動支援事業 広島県アートサポートセンター ＝まちづくりに関わる事業	事業費	8,040,000 円 (広島県受託事業)
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ 支援者、関係者の表現活動に関する支援スキルがアップし、障がいのある人が表現活動に参加できる機会を増やします。 ○ 支援者、関係者のネットワーク機関を広げよりサポート体制を強化します。 ○ 広島県内で、多様な表現の裾野の拡大を目指します。 		
実施日時	通年		
実施場所	認定NPO法人ひゅーるぽん、Otis!、佐東公民館、ギャラリー若菜、広島県立美術館、広島市東区民文化センター、ふくやま美術館、トヨペット廿日市店、宮島交流館、JMS アステールプラザ 1Fギャラリー、社会福祉法人静和会 大日学園、らいふスペースともある、JMSアステールプラザ 多目的スタジオ、らいふスペースともある など		
参加者	障がいのある方、支援者、関係者、障がいのある方の表現に興味のある方 人材育成事業、創作活動支援事業の参加者149名		

実施内容	<p>(1) 広島県アートサポートセンターの運営 広島県「令和4年度障害者文化芸術活動事業」を受託し実施。アドバイザー(相談員)2名(内1名は兼務)と補助協力スタッフ1名(兼務)を配置しました。</p>
	<p>(2) 普及啓発・情報発信事業の実施 関係団体やイベント・セミナーにてパンフレットを配布。ホームページ、Facebookなどで情報を発信。 年間発信数：ホームページ176件、Facebook195件、Instagram32件 合計403件 アクセス数：ホームページ 30,419件、Facebook 9,470件、Instagram 1,647件 合計 41,536件</p>
	<p>(3) 人材育成事業の実施 ア アートセミナー&座談会 ・セミナー1 やまなみ工房の日々から 実施日：2022年7月15日 講師：やまなみ工房施設長 山下完和 氏 ・セミナー2 ほっとスペースぽんぽんの日々から 実施日：2022年9月17日 講師：ほっとスペースぽんぽん 鰐川華衣 ・セミナー3 社会福祉法人若菜の日々から 実施日：2022年10月15日 講師：社会福祉法人若菜 すが野の里施設長 大田麻衣子 氏 ・セミナー4 「アートとフクシのコラボーション〜ときどきキョーイク2022〜」 実施日：2022年11月5日 講師：富山県障がい者芸術活動支援センターぱーと●とやま代表 米田昌功氏</p>
	<p>イ 新たな出会いセミナー ・墨を使った表現について～書・書道～ 実施日：2022年11月19日 講師：広島大学 大学院人間社会科学研究科・教授 教育学部 副学部長 松本仁志 氏</p>
	<p>ウ 表現者発掘プロジェクト ・広島県内に在住しているアーティスト3名に取材し、編集した映像を広島県アートサポートセンターのYouTubeチャンネルにて公開 聞き手・編集：ギャラリーミヤウチ 学芸員 今井みはる氏、アーティスト 諫山元貴氏</p>
	<p>(4) 創作活動支援事業の実施 ア 文化芸術活動体験ワークショップ ・ワークショップ「おみくじアート」実施日：2022.11.6 講師：富山県障がい者芸術活動支援センターぱーと●とやま代表 米田昌功氏</p>
	<p>イ 障害福祉サービス事業所等への専門家派遣 ・展示方法の基本を学ぶ 実施日：2022.6.28 講師：ギャラリーミヤウチ 学芸員 今井みはる 氏</p>
	<p>・陶芸粘土で遊ぼう！ 実施日：2023.1.25 講師：アートサポートセンタースタッフ</p>
	<p>・墨で遊ぼう！ 実施日：2023.2.18 講師：書家 高津 佳代子 氏</p>

	<p>(5) その他障害者文化活動の振興に資する事業</p> <p>ア 文化芸術等への鑑賞に関する事業：一体型プロジェクト企画</p> <ul style="list-style-type: none"> ・遠隔ロボットを使った鑑賞会inあいさぽーとアート展 実施日：（広島会場）2022年11月3日（福山会場）2022年12月7日 連携団体：広島大学、広島支援機器研究会 ・みんなで楽しむおしゃべり鑑賞会～美術館でアートを見よう～ 実施日：2023年3月25日 連携団体：広島県、広島大学、広島県立美術館、広島支援機器研究会 <p>イ 企画提案事業「アートの巣箱」公募事業 art201とART COMPLEX HIROSHIMA に助成金を交付</p> <p>(6) 相談への対応</p> <p>電話、ホームページ、訪問。講座を通して相談を受付、対応。 (新規相談数：79件、継続対応数：420件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいサポートアート展の広島会場にてアート相談窓口を実施 実施日：2022年12月6日 <p>その他、協力依頼の対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広場にあつまった仲間たちによる演劇公演「おきらく劇場ピロシマ ウタとナントのさかのぼり」の共催事業としてサポート 実施日：2023年3月4日、5日 ・SDM-japan トーキングマット研修の周知サポート
--	---

事業名	アートサポートセンターひゆるる ＝まちづくりに関わる事業	事業費 14,168 円
事業目的	<p>○アートによるまちづくり事業と協働し、社会への普及啓発を行います。</p> <p>○障がい者アートの普及・発展に向けた取り組みを行います。</p> <p>○障がい者アートを取り巻く社会情勢を踏まえ、新しい視点を提案します。</p>	
実施日時	通年	
実施場所	認定NPO法人ひゆるるぽん	
実施内容	<p>(1) 広島県アートサポートセンターで対応できない相談や協力に対応しました。</p> <p>(2) 今年度は協働での事業実施はありませんでした。</p> <p>(3) アートスペース事業のサポートを行いました。</p> <p>(4) (一社) 舞台芸術制作室無色透明が実施する、演劇クラブや演劇公演のサポートを行いました。</p>	

3-2 地域・社会啓発つながりづくりプログラム

今年度は昨年度のコロナ禍での工夫や感染対策を踏まえて、昨年度はできなかった夏まつりを「おとぎまつり」として実施する事ができました。感染のリスクの高い飲食は控えるなどコロナ前のような規模ではできませんでしたが、普段あまり目にすることのできない和楽器の演奏を楽しんだり、遊びのコーナーは大盛況で、コロナ前のように地域の子どもたちとひゅーるの子どもたち・通所者たちがわいわいと交流する姿があり、行事イベントを実施することの意義を感じました。

また、ロシアとウクライナの戦争に、多くの方が心を痛めている年でもありました。佐東公民館とANT-Hiroshimaとの共催でウクライナ民族楽器演奏者のカテリーナさんをお招きし、地域の方を招いた平和を願うコンサートを実施しました。被爆地でもある広島から平和への思いを馳せる時間となりました。

例年、開催している焼き芋会も「昨年美味しかったからまた来たよ」など地域の方が心待ちにしてくださっている声が多く聞かれました。コロナ前のような十分なおもてなしはできなくても、人が集まるきっかけや場をつくっていくことの大切さを改めて感じる事ができました。

こうしたイベントを通して、普段接点のない無い人同士が話すきっかけが生まれ新しいつながりの場となったり、久しぶりの再会の場となったりと、さまざまな交流を生むことができました。しかし、そこから今年度の大きなテーマであった、“日常的なつながり”へは結びつかなかったことが課題として残りました。どうしたら継続的なつながりになるのか。ひゅーるぽん内では幾度も話し合いました。そこから、日々の何気無い日常の活動からの延長線上で考えていく事が大切なのではないかと。ひゅーるぽんの日常を徐々に保護者や地域の人にオープンにしていき、小さなきっかけを繰り返すにつれて自然とつながっていけるのではないかとということに至りました。今後は、イベント行事も大切に行っていきながら、日常的なつながりが生まれる日々の活動も“継続”と“オープンにする”意識を持って取り組んでいきたいと思えます。

事業名	地域協力プログラム =まちづくりに関わる事業	事業費	0円
事業目的	地域行事のにぎわいに貢献し、地域住民とつながりを深めます。		
実施場所	NPO法人ひゅーるぽん		
参加者	地域の人、通所児・者、スタッフなど		
実施内容	公民館まつりではコロナウイルス感染症の影響で参加の見合わせ、区民まつりは中止となりました。		

事業名	地域交流プログラム ＝まちづくりに関わる事業	事業費	43,663 円
事業目的	啓発活動とあわせて、地域住民やボランティアとつながりをつくったり、深めたりしていきながら、「ともに生きていく」地域づくりを目指します。		
実施場所	NPO法人ひゅーるぽん		
参加者	地域の人、協働する団体、通所児・者、スタッフ、保護者など		
実施内容	<p>1.おとぎまつり 2022年9月9日（土）18時～19時 参加者：約80人 内容：昨年コロナ禍でできなかった夏まつりを開催しました。今年は区内で活動されている箏曲グループ『おとぎ組』さんをお招きし和楽器のコンサートと子どもたちが楽しめる遊びのコーナーをつくり地域の方や学生ボランティアとともに楽しめるおまつりが実施できました。</p> <p>2.焼き芋会 2022年11月26日（土）10時～14時半 参加者：約50人 内容：佐東公民館の登録グループ「おやじの料理」さんの協力で焼き芋を実施。地域の方の期待感もあり想定以上に多くこられ、通所される子ども・家族に行き渡らないことも起こり、第2部として別日に内部向けに焼き芋会を実施しました。</p> <p>3.ウクライナ民族楽器演奏者カテリーナさんによる「平和を願うコンサート」 2022年12月3日（土）16時半～17時半 参加者：約200人 内容：佐東公民館、ANT-Hiroshimaと共催でウクライナ民族楽器演奏者のカテリーナさんをお招きし、平和を願うコンサートを実施しました。また、YouTube生配信を並行して実施しました。</p> <p>4.もちつき大会 2022年12月17日（土）コロナウイルス感染拡大のため2022年1月14日（土）順延としましたが感染状況改善しなかったため中止としました。</p>		



3-3 ボランティア育成プログラム

今年度は約3年ぶりに「夏のボランティアプログラム」を実施し、高校生から大学生まで39名の活動申し込みがありました。感染症等の影響もあり、実際に活動参加することができたのは27名に留まりましたが、様々な学部や部活動に所属する学生が活動に参加されました。そのうち約1割の方は活動の面白さを感じて、プログラム終了後も継続して活動参加されています。

その一方で、ボランティアを受け入れる体制や日常的な情報発信について不十分な点がありました。法人全体として見直しを行い、より学生がボランティア活動に参加しやすい環境づくりをしていくことがこれからの課題だと感じています。

事業名	ボランティアセンタープログラム = ボランティアおよびボランティア団体の参加・育成支援、そのための助言に関わる事業	事業費	8,182 円
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ○ ボランティアに関心のある人々を巻き込んでいながら、学び・学び合いの場を提供していきます。 ○ 私たちが展開する様々なプログラムに参加することを通じて、ボランティア・市民活動について相互に学び合う場を作ります。 		
実施日時	通年		
実施場所	ひゅーるぽん		
参加者	のべ 34名 (高校生 6名、大学生 28名)		
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> (1) 感染対策をしながら個人ボランティアの受け入れ (2) 地域の高校～大学生向けの「夏のボランティア体験プログラム」の実施 (3) 定期的なメール配信による活動情報や行事の案内 		

事業名	広島市災害ボランティア活動連絡調整会議プログラム = 緊急・災害時の支援に関わる事業	事業費	0 円
事業目的	「広島市災害ボランティア活動連絡調整会議」構成団体として、協働しながら災害に備え、災害時にはその対応にあたります。		
実施内容	定例会議への参加 (6/26)		
実施日時	通年		

事業名	外部への講師・委員派遣・協力事業 ＝ボランティアおよびボランティア団体の参加・ 育成支援、そのための助言に関わる事業	事業費	0円
事業目的	様々な人が共に生きやすい社会を実現していくために、地域の団体や機関との協働を進めます。		
実施内容及び日時	(1)講師等 5/18、5/25 比治山大学「ボランティアワーク」講師 6/27 全国児童発達支援協議会東北ブロック研修講師（オンライン） (2)委員 広島市社会福祉審議会全体会委員 広島市社会福祉審議会子ども・子育て専門部会委員 広島市社会福祉審議会高齢福祉専門部会委員 広島市地域福祉活動推進基金助成事業審査委員 広島市社会福祉協議会理事 広島市社会福祉協議会ボランティアセンター運営委員会委員長 広島市社会福祉協議会基金管理運営委員会委員長 広島市社会福祉協議会地域福祉総合企画委員会委員 公益財団法人コミュニティ未来創造基金評議員 広島県あいサポートアート展審査員 など		

事業名	職場体験・実習生等の受け入れ ＝その他、本法人の目的を達成するために必要な事業	事業費	0円
事業目的	教育現場と連携し、職場体験・実習受け入れを行い、学生に学びの場を提供します。		
実施内容及び日時	(1) 職場体験・インターンシップ 県立広島商業高校 インターンシップ 1名 (2/8～2/9) (2) 実 習 広島文教大学 社会福祉士実習 2名 (6/6～6/21、11/7～11/25、2/13～3/2) 比治山大学 保育士実習 1名 (6/6～6/20) 県立広島大学 社会福祉士実習 1名 (8/9～8/20、9/1～9/12) 広島国際大学 保育士実習 1名 (8/8～8/23) 比治山大学 保育士実習 1名 (8/18～8/30、9/27) 広島文教大学 保育士実習 1名 (9/8～9/20) 安田女子大学 心理学部実習 4名 (12/1、12/3、12/8、12/10、12/17)		

令和4年度 活動実績

1.年間活動時間

【内訳】

①運営に係わるプログラム	会議日	130時間	(昨年度156時間)
②コミュニティスペースプログラム	年間245日		
③まちづくりプログラム		276時間	(昨年度270時間)
④ボランティア育成プログラム		8時間	(昨年度10時間)

2.ボランティア年間活動参加のべ人数

34名 (昨年度52名)

■センター	33名	(昨年度36名)
■ぽんぽん	0名	(昨年度11名)
■まちづくり	1名	(昨年度5名)

3.会員登録数

127名 (昨年度136名)

■正会員	29名	(昨年度 28名)
■賛助会員	98名	(昨年度108名)

2022(令和4)年度決算概要

(単位：万円・%)

事業名		2022年度 予算(A)	2022年度 決算(B)	増減 (B-A)	対予算比
収 益	正会員・賛助会員受取会費	80	67	△ 13	83.8%
	受取寄付金	120	71	△ 49	59.2%
	受取助成金・補助金	61	56	△ 5	91.8%
	障害福祉サービス等事業収益 (給付費)	10,502	10,822	320	103%
	受託事業収益	804	804	0	100%
	自主事業収益	472	632	160	133.9%
	その他の収益	50	55	5	110%
	当初予算外収益	0	205	205	—
	収益計(1)	12,089	12,712	623	105.2%
費 用	人件費	8,785	8,703	△ 82	99.1%
	人件費(賞与)	0	800	800	—
	その他経費	2,776	2,434	△ 342	87.7%
	内、減価償却費	523	538	15	102.9%
	費用計(2)	11,561	11,937	376	103.3%
経常増減額(3)=(1)-(2)		528	775	247	146.8%
資 金 増 減	減価償却費の足し戻し	△ 523	△ 538	△ 15	102.9%
	借入金等の返済による支出	712	744	32	104.5%
	保険積立金の支払いによる支出	178	178	0	100%
	将来的な修繕への積立	60	60	0	100%
	資金増減(返済/積立)計(4)	427	444	17	104%
現預金増減額(5)=(3)-(4)		101	331	230	327.7%
債券返済(6)		119	119	0	100%
当期現預金増減額(7)=(5)-(6)		△ 18	212	230	△1,177.8%

【収益】

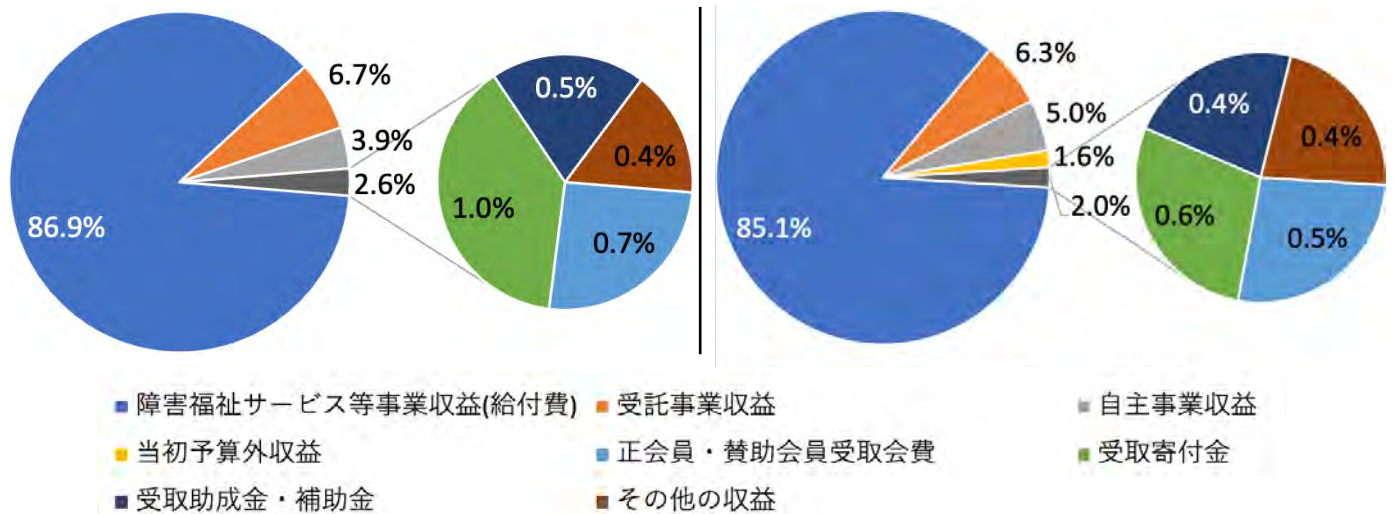
・ 障害福祉サービス等事業収益（給付費）は、処遇改善加算の新規取得や障害児相談支援や保育所等訪問支援の実績増により増収。

・ 福祉サービス外（延長預かり、私的利用等）の自主事業は増収。一方で、まちづくりやボランティア育成プログラムは感染症による事業縮小などの影響があり減収。

当初予算外収益205万の内訳は以下の通り。

- ・ 小学校等休業対応助成金 22万、社会貢献表彰金 101万
- ・ 市 社会福祉施設等物価高騰支援金42万、市 社会福祉施設等従業者支援金 40万

2022年度収益割合
(左表 予算、右表 決算)



【費用】

・ 物価高騰が続いている状況を鑑みて、10月分から基本給ベースアップを実施。育休代替えとして確保していた予算と一部相殺。

・ 賞与は2021年度同様に総額800万（社会保険料含む）とし、2023年3月30日に支給。

・ 物価高騰により光熱費やガソリン代は対予算費が120%となるなどの影響あり。その他にも物価高騰はあったが、内容等の見直しを行い最小限の影響に留めた。

・ 収益同様にまちづくりやボランティア育成プログラムは事業縮小により、支出も減。また、研修や会議がオンライン実施されたことで、交通費等の支出も削減。

【資金増減】

・ 公用車の入れ替えを実施したことで減価償却費・借入金（長期リース料）が増加。

・ こども発達支援センター建築時に設置した太陽光発電パネルに関する借入金の返済が2022年11月20日に終了。

・ こども発達支援センター建築時の債券償還開始。2022年度償還分119万円を2023年3月24日までに償還済み。

令和4年度 決算報告書

第 22期

自 2022年 4月 1日

至 2023年 3月31日

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽん

(全事業)

広島市安佐南区川内

6-28-15

令和4年度 活動計算書

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽん

[税込] (単位: 円)

全事業所

自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

【経常収益】		
【受取会費】		
正会員受取会費	180,000	
賛助会員受取会費	492,000	
【受取寄付金】		
受取寄付金	713,035	
【受取助成金等】		
受取助成金	110,000	
受取補助金	452,880	
障害福祉サービス等事業収益	108,225,818	
【事業収益】		
プログラム利用収益	1,235,890	
施設費収益	6,200	
講師謝礼金収益	292,819	
事業収益 (物品販売)	4,782,475	
受託事業収益	8,040,000	
【その他収益】		
売電収益	418,575	
雑収益	2,179,539	
経常収益計		127,129,231
【経常費用】		
【事業費】		
(人件費)		
給料 手当(事業)	59,557,817	
賞 与(事業)	5,984,275	
作業工賃	1,759,425	
通 勤 費(事業)	814,298	
法定福利費(事業)	9,411,477	
福利厚生費(事業)	1,570,087	
人件費計	79,097,379	
(その他経費)		
【売上原価】		
事業仕入	1,033,816	
当期仕入高計	1,033,816	
期末棚卸高	△ 101,852	
期末商品・製品棚卸高計	△ 101,852	
売上原価計	931,964	
活動援助金	2,860	
賃借料 (事業)	501,600	
水道光熱費(事業)	1,822,749	
通信運搬費(事業)	764,612	
リース料 (事業)	307,164	
旅費交通費(事業)	300,438	
車輛関係費(事業)	377,905	
消耗品費(事業)	1,100,914	
食料費(事業)	1,141,247	
印刷製本費(事業)	193,477	
保 険 料(事業)	940,836	
諸 謝 金(事業)	1,710,143	
接待交際費(事業)	2,100	
会 議 費(事業)	4,000	
図書費(事業)	15,757	
広告宣伝費(事業)	2,910	
修 繕 費(事業)	54,617	
委託費(事業)	1,585,274	

令和4年度 活動計算書

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽん

[税込] (単位: 円)

全事業所 自 2022年 4月 1日 至 2023年 3月31日

会場費(事業)	135,940	
諸会費(事業)	101,750	
租税公課(事業)	635,500	
支払手数料(事業)	122,889	
支払助成金	400,000	
雑費(事業)	362,649	
その他経費計	13,519,295	
事業費計		92,616,674
【管理費】		
(人件費)		
給料手当	12,103,083	
賞与手当	922,739	
通勤費	83,280	
法定福利費	2,180,526	
福利厚生費	649,306	
人件費計	15,938,934	
(その他経費)		
賃借料	451,000	
通信運搬費	467,248	
リース料	943,176	
旅費交通費	30,380	
車両関係費	1,046	
消耗品費	428,874	
印刷製本費	195,930	
保険料	724,972	
諸謝金等	211,000	
接待交際費	56,506	
ゴミ処理手数料	162,194	
研修費	149,200	
図書費	37,356	
広告宣伝費	17,600	
委託費	360,000	
減価償却費	5,379,998	
諸会費	59,050	
租税公課	189,850	
支払手数料	109,963	
雑費	300,996	
その他経費計	10,276,339	
管理費計		26,215,273
経常費用計		118,831,947
当期経常増減額		8,297,284
【経常外収益】		
受取利息	830	
過年度損益修正益	2,430	
経常外収益計		3,260
【経常外費用】		
支払利息	531,698	
固定資産除却損	1	
過年度損益修正損	14,596	
経常外費用計		546,295
税引前当期正味財産増減額		7,754,249
当期正味財産増減額		7,754,249
前期繰越正味財産額		127,078,788
次期繰越正味財産額		134,833,037

令和4年度 貸借対照表

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽん
全事業所

[税込] (単位:円)
2023年 3月31日 現在

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	
(現金・預金)		未 払 金	8,912,915
現 金	401,608	1年内返済予定長期借入金	6,852,000
普通 預金	41,371,067	1年内返済予定債券	1,120,000
郵便振替貯金	2,000	預 り 金	2,966,454
定期 預金	27,818,764	未払消費税等	293,900
現金・預金 計	69,593,439	流動負債 計	20,145,269
(売上債権)		【固定負債】	
未収入金	19,974,301	長期借入金	47,084,000
売上債権 計	19,974,301	債券	3,360,000
(棚卸資産)		長期未払金	2,431,110
商 品	101,852	固定負債 計	52,875,110
棚卸資産 計	101,852	負債合計	73,020,379
流動資産合計	89,669,592	正 味 財 産 の 部	
【固定資産】		【正味財産】	
(有形固定資産)		前期繰越正味財産額	127,078,788
土 地	58,500,000	当期正味財産増減額	7,754,249
建 物	34,568,070	正味財産 計	134,833,037
建物附属設備	3,895,338	正味財産合計	134,833,037
構 築 物	1,704,301		
車両運搬具	3,017,333		
什器 備品	450,992		
有形固定資産 計	102,136,034		
(無形固定資産)			
電話加入権	72,000		
無形固定資産 計	72,000		
(投資その他の資産)			
権 利 金	40,000		
敷 金	225,000		
長期前払費用	15,710,790		
投資その他の資産 計	15,975,790		
固定資産合計	118,183,824		
資産合計	207,853,416	負債及び正味財産合計	207,853,416

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぼん
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 3月31日 現在

《資産の部》

【流動資産】

(現金・預金)

現金	401,608
法人事務局小口	(59,700)
Hull Fan	(10,000)
地域行事	(24,807)
ぼんぼん一般	(6,149)
ぼんぼん特別	(82,614)
子どものお金	(160,566)
行事用会計	(57,772)
普通預金	41,371,067
広島銀行(事務局)	(18,212,501)
もみじ銀行(ぼんぼん一般)	(2,951,479)
もみじ銀行(ぼんぼん取引)	(639,749)
広島銀行(HullFan)	(15,444,631)
広島銀行(幸せプロダクツ)	(2,019,779)
広島銀行(広島県受託事業)	(42,730)
中国労働金庫(建築)	(22,418)
広島銀行(広島市受託事業)	(2,027,140)
広島銀行(演劇事業)	(10,640)
郵便振替貯金	2,000
ゆうちょ銀行(HullFan)	(2,000)
定期預金	27,818,764
広島銀行(定期)	(27,818,764)
現金・預金計	<u>69,593,439</u>

(売上債権)

未収入金	19,974,301
児童発達支援給付費(公費2~3月分)	(12,613,731)
放課後等デイ給付費(公費2~3月分)	(2,355,577)
保育所等訪問給付費(公費2~3月分)	(142,388)
相談支援給付費(公費2~3月分)	(517,710)
就労継続B型給付費(公費2~3月分)	(3,000,864)
放課後等デイ(利用者負担3月分)	(183,756)
児童発達支援(利用者負担3月分)	(9,200)
児童発達支援 給食費3月分	(159,020)
放課後等デイ給付費(公費遅延分)	(27,847)
児童発達支援給付費(公費遅延分)	(210,870)
相談支援給付費(公費遅延分)	(14,585)
放課後等デイ(利用者負担遅延分)	(30,749)
市障害自立支援課(療育支援事業1~3月分)	(128,910)
市障害自立支援課(コト特別手当補助分)	(400,000)
ぼんぼん(グッズ売上代金)	(27,829)
幸せプロダクツ(グッズ売上代金)	(16,119)
中国電力(売電料金)	(25,259)
広島労働局(小学校等休業対応助成金)	(32,110)
アトスペース月謝・材料費	(54,040)
ひよこ延長利用料	(10,000)
職員経費立て替え分	(9,726)
行事料金	(4,011)
売上債権計	<u>19,974,301</u>

(棚卸資産)

商品	101,852
棚卸資産計	<u>101,852</u>

流動資産合計

89,669,592

【固定資産】

(有形固定資産)

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぼん
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 3月31日 現在

土 地	58,500,000	
建 物	34,568,070	
建物附属設備	3,895,338	
構 築 物	1,704,301	
車両運搬具	3,017,333	
什器 備品	450,992	
有形固定資産 計	102,136,034	
(無形固定資産)		
電話加入権	72,000	
無形固定資産 計	72,000	
(投資その他の資産)		
権 利 金	40,000	
倉庫 (川内2丁目1-11-102) 礼金	(40,000)	
敷 金	225,000	
駐車場 (川内6丁目543-1) 長村	(40,000)	
駐車場 (川内6丁目325) 木原	(5,000)	
倉庫 (八木6-15-29-103, 104)	(180,000)	
長期前払費用	15,710,790	
アリコ (退職金積立)	(13,886,530)	
あいおい (退職金積立)	(1,824,260)	
投資その他の資産 計	15,975,790	
固定資産合計	118,183,824	
資産の部 合計		207,853,416

《負債の部》

【流動負債】

未 払 金	8,912,915
職員給与3月分	(5,178,538)
ぼんぼん通所者作業工賃3月分	(421,062)
NTTファイナンス (電話代)	(21,857)
富士フィルム (印刷カウント代)	(7,825)
社会保険料	(1,855,982)
労働保険料	(758,706)
トヨタファイナンス (ガソリン代)	(21,852)
幸せプロダクツ (アートレンタル謝礼)	(150,253)
ぼんぼん (グッズデザイン料)	(7,147)
オリコ (クレジットカード利用料金)	(39,437)
アスクル (消耗品等)	(55,426)
東京海上日動保険 (超ビジネス保険)	(275,990)
損害保険ジャパン (雇用慣行保険)	(30,000)
弘法 (印刷機インク・用紙等)	(36,850)
市障害自立支援課 (利用費助成返還)	(3,800)
研修旅費	(5,460)
広島県事業 (報告書印刷代)	(42,730)
1年内返済予定長期借入金	6,852,000
福祉医療機構 (建物建築)	(3,252,000)
広島銀行 (土地)	(3,600,000)
1年内返済予定債券	1,120,000
預 り 金	2,966,454
給与源泉所得税	(667,038)
報酬源泉所得税	(83,793)
健康保険	(668,038)
厚生年金	(1,119,592)
住民税	(183,700)
通所者交通費	(25,955)
こどものお金	(160,566)
行事参加費	(57,772)
未払消費税等	293,900

令和4年度 財産目録

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽん
全事業所

[税込] (単位: 円)
2023年 3月31日 現在

流動負債 計		20,145,269	
【固定負債】			
長期借入金	47,084,000		
福祉医療機構 (建物建築)	(28,184,000)		
広島銀行 (土地)	(18,900,000)		
債券	3,360,000		
長期未払金	2,431,110		
トヨタレンタリース (カーリース)	(2,431,110)		
固定負債 計		52,875,110	
負債の部 合計			73,020,379
正味財産			134,833,037

令和4年度 財務諸表の注記

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぼん

2023年 3月31日 現在

【重要な会計方針】

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準（2010年7月20日 2017年12月12日最終改正 NPO法人会計基準協議会）によっています。

(1). 棚卸資産の評価基準及び評価方法

商品は、最終仕入原価法による原価法によっています。

(2). 固定資産の減価償却の方法

建物については、定額法によっています。

また、その他の有形固定資産については、定率法によっています。

2021年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については、定額法によっています。

(3). 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっています。

【固定資産の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首帳簿価額	取得	減少	差引	当期償却額	期末帳簿価額
(有形固定資産)						
土地	58,500,000	0	0	58,500,000	0	58,500,000
建物	37,622,032	0	0	37,622,032	△ 3,053,962	34,568,070
建物附属設備	4,814,777	0	0	4,814,777	△ 919,439	3,895,338
構築物	1,882,931	0	0	1,882,931	△ 178,630	1,704,301
車両運搬具	1,199,023	2,752,200	1	3,951,222	△ 933,889	3,017,333
什器 備品	745,070	0	0	745,070	△ 294,078	450,992
合計	104,763,833	2,752,200	1	107,516,032	△ 5,379,998	102,136,034

【借入金の増減内訳】

[税込] (単位：円)

科目	期首残高	当期借入	当期返済	振替	期末残高
1年以内返済予定長期借入金 (広島銀行)	270,000	0	270,000	0	0
〃 (福祉医療機構)	3,252,000	0	3,252,000	3,252,000	3,252,000
〃 (広島銀行)	3,600,000	0	3,600,000	3,600,000	3,600,000
長期借入金 (福祉医療機構)	31,436,000	0	0	△ 3,252,000	28,184,000
〃 (広島銀行)	22,500,000	0	0	△ 3,600,000	18,900,000
合計	61,058,000	0	7,122,000	0	53,936,000

【事業損益の内訳】

事業損益の明細は別紙に出力しています。

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽん
令和4（2022）年度 監査報告書

特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽんより提出された

1. 令和4（2022）年度 活動計算書
2. 令和4（2022）年度 貸借対照表
3. 令和4（2022）年度 財産目録

を監査した結果、いずれにしても正確にして適法なことを認めます。

令和 5年 5月 5日

監事

稲田正司



監事

三浦友美



特定非営利活動法人コミュニティリーダーひゅーるぽん

令和4（2022）年度 監査報告書

令和5年5月5日に、「NPO法人の遵守事項チェックシート」（広島市より提示）に基づき法人の監査を行いました。

令和 5年 5 月 5 日

監事 船田正弘 

監事 三浦友美 